

12期 ミュージアムに行こう3

第1回テーマ 兵庫陶芸美術館へ行こう

【事前学習】

〈日時〉 2024年4月16日

〈場所〉 高槻センター街ビル3F

〈講師〉 兵庫陶芸美術館学芸員

マルテル坂本牧子 先生



〈内容〉

兵庫陶芸美術館で開催されている

「フィンランド・ガラスアート 一輝きと彩りのモダンデザイン」

「ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展

一食べること、共に生きること」(同時開催)

についてお話していただきました。

① フィンランド・ガラスアート 一輝きと彩りのモダンデザイン

第1章 フィンランド・ガラスアートの台頭

第2章 黄金期の巨匠たち

第3章 フィンランド・ガラスアートの今

それぞれの時代の様子、代表的な作家や作品について写真を交えながら詳しく説明していただきました。

② ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展 一食べること、共に生きること

埼玉県飯能市のムーミンバレーパークで2021～2022年に開催された企画展

「ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展 一食べること、共に生きること」

の一部再現展示

★はじめに、兵庫陶芸美術館や丹波、フィンランドの国についても説明されたので、興味深くお話を聞くことができました。また、写真の作品がとてもきれいだったので鑑賞会の日が楽しみになった方も多かったのではないかと思います。

【鑑賞会】

日時；2024年4月23日

場所：兵庫陶芸美術館　　丹波篠山市立歴史美術館

〔兵庫陶芸美術館〕

★新大阪で集合し、貸し切りバスで現地に向かいました。兵庫陶芸美術館は緑豊かな自然に囲まれた小高い所がありました。曇り空でしたがちょうど新緑の美しい季節で、バスから降りた途端に清々しい気持ちになりました。館内でもいたるところで風景を眺めることができ本当に素敵な美術館でした。



★美術館では、事前学習でお話をしていたいただいたマルテル坂本牧子先生が待っていてくださいました。

自然光（ガラス作品を鑑賞するのにいちばんよい光）の入る所に展示されている作品について説明していただきました。「説明しだしたら止まらない」とご自分でおっしゃるくらい作品に愛着を感じておられるのが伝わってきました。



《フィンランド・グラスアート》

第1章 フィンランド・グラスアートの台頭

★自然をモチーフにした美しい作品でした。作品を創る時の木型も展示されていました。



「アアルト・フラワー」
アルヴァ&アイノ・アアルト



「カラー」
グンネル・ニューマン

第2章 黄金期の巨匠たち

★いったいどうやって作っているのだろうと考えてしまうような作品が並んでいて、楽しく鑑賞できました。



「アートグラス、
ユニークピース」
カイ・フランク



「サンボール」
ティモ・
サルパネヴァ



「氷上の釣り穴」
タピオ・
ヴィルツカラ



「知恵の樹、
ユニークピース」
オイヴァ・トイッカ

第3章 フィンランド・ガラスアートの今

★金属のメッシュがついている物や色形の面白い作品がいろいろありました。



「アンフォラ、ユニークピース」
マルック・サロ



「リコリスみたい」
ヨーナス・ラークソ

《ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展》(残念ながら撮影 NG)

★「食」をテーマに、原画・複製画・スケッチなどが展示されていました。自然に寄り添い、仲間とともに生きるムーミンの世界を感じることができました。

★ささやま玉水というところで、お昼ご飯を食べてひと休み



おいしくいただきました！ 神戸牛すき焼き御膳

【丹波篠山市立歴史美術館】

★丹波篠山に伝わる武具、漆器、絵画などの美術品や絵巻物が展示されていました。

旧篠山裁判所の法廷では、判事の衣装を身に着ける体験をされ方もいました。



★1回目の鑑賞会で多少不安もありましたが、貸し切りバスで行ったり、みんなで昼食をとったりしたことで、班の皆さんと知り合うことができ、とても良かったと思います。この計画を立て、準備してくださったCAの方々、ありがとうございました。